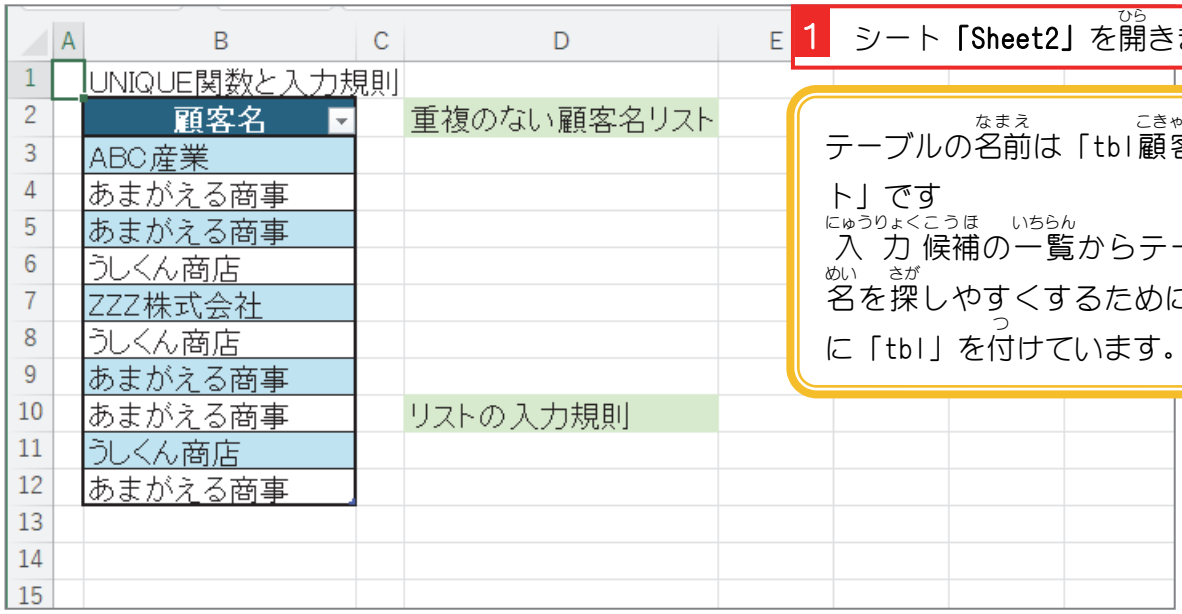
STEP 8. リストにUNNIQUE関数の結果を使用する

UNIQUE関数を使うと重複のないリストが作れますね。そのリストをデータの入力規則で使いましょう。

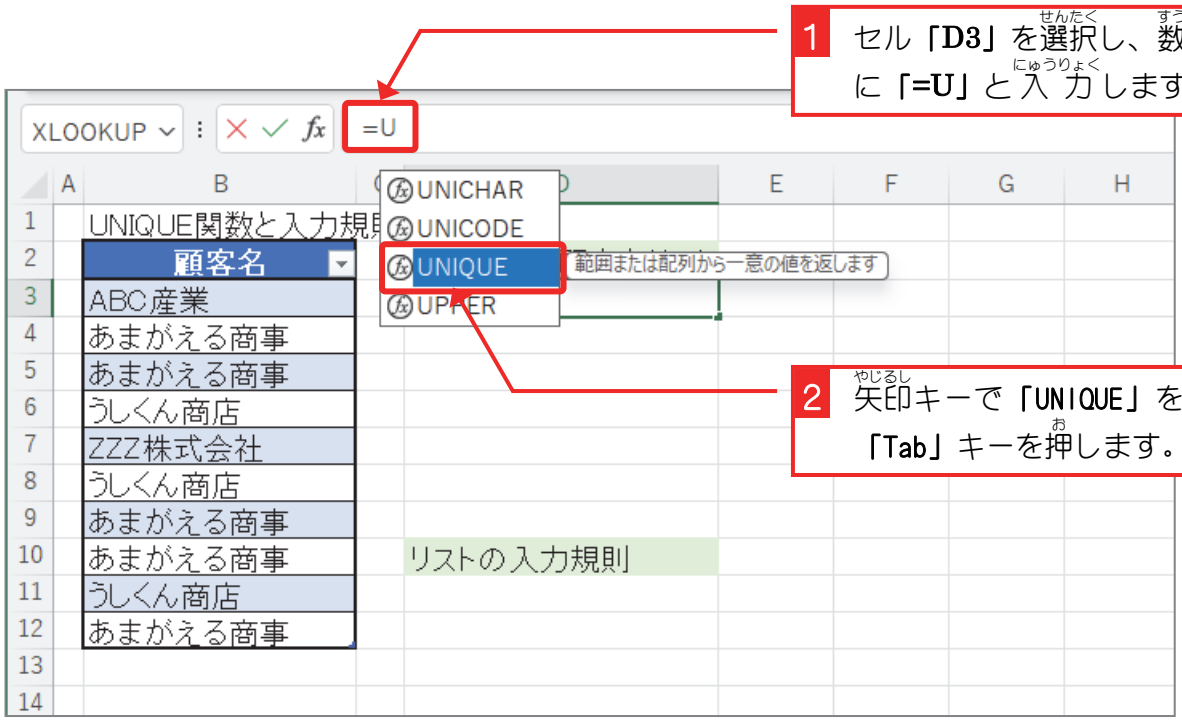
1. テーブルを用意しましょう



1 シート「Sheet2」を開きます。

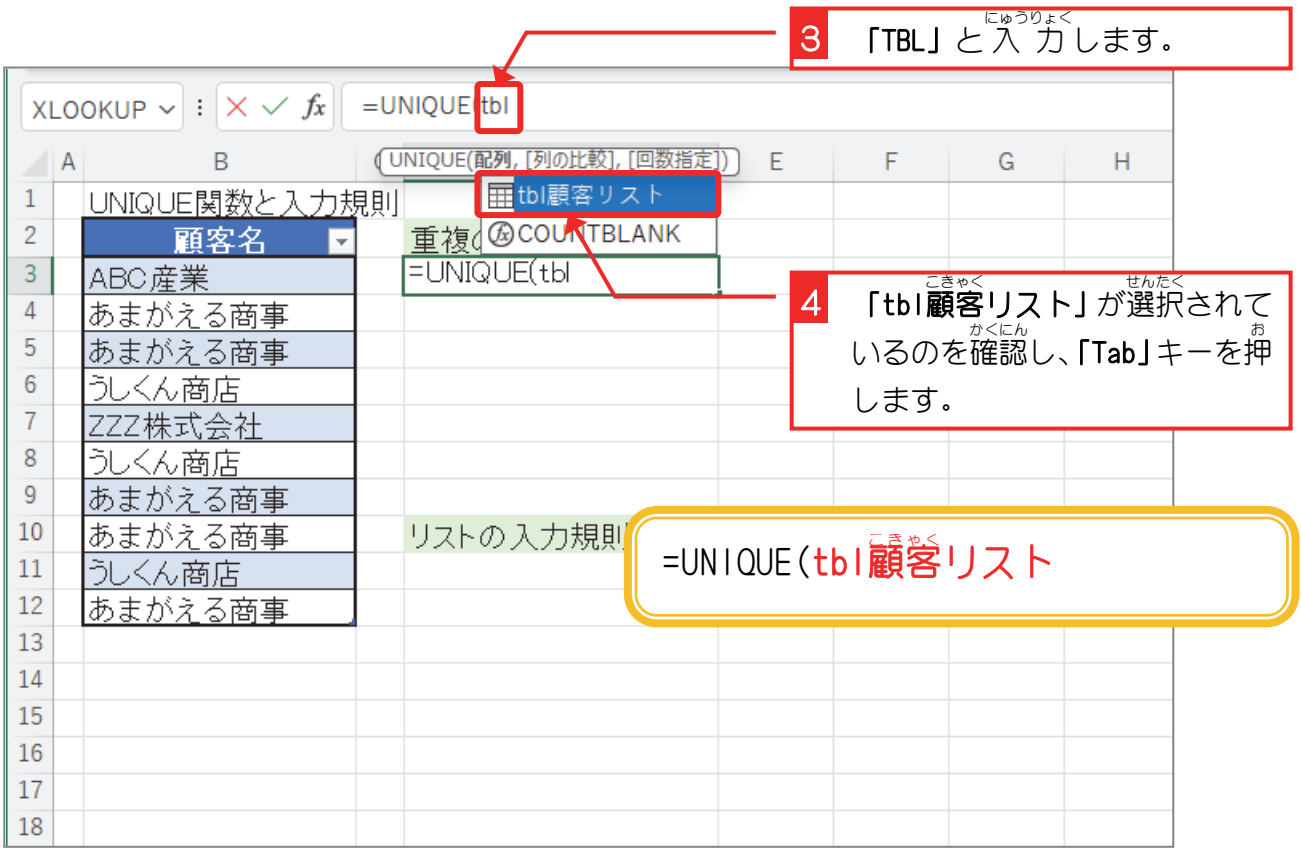
テーブルの名前は「tbl顧客リスト」です
入力候補の一覧からテーブル名を探しやすくするために先頭に「tbl」を付けています。

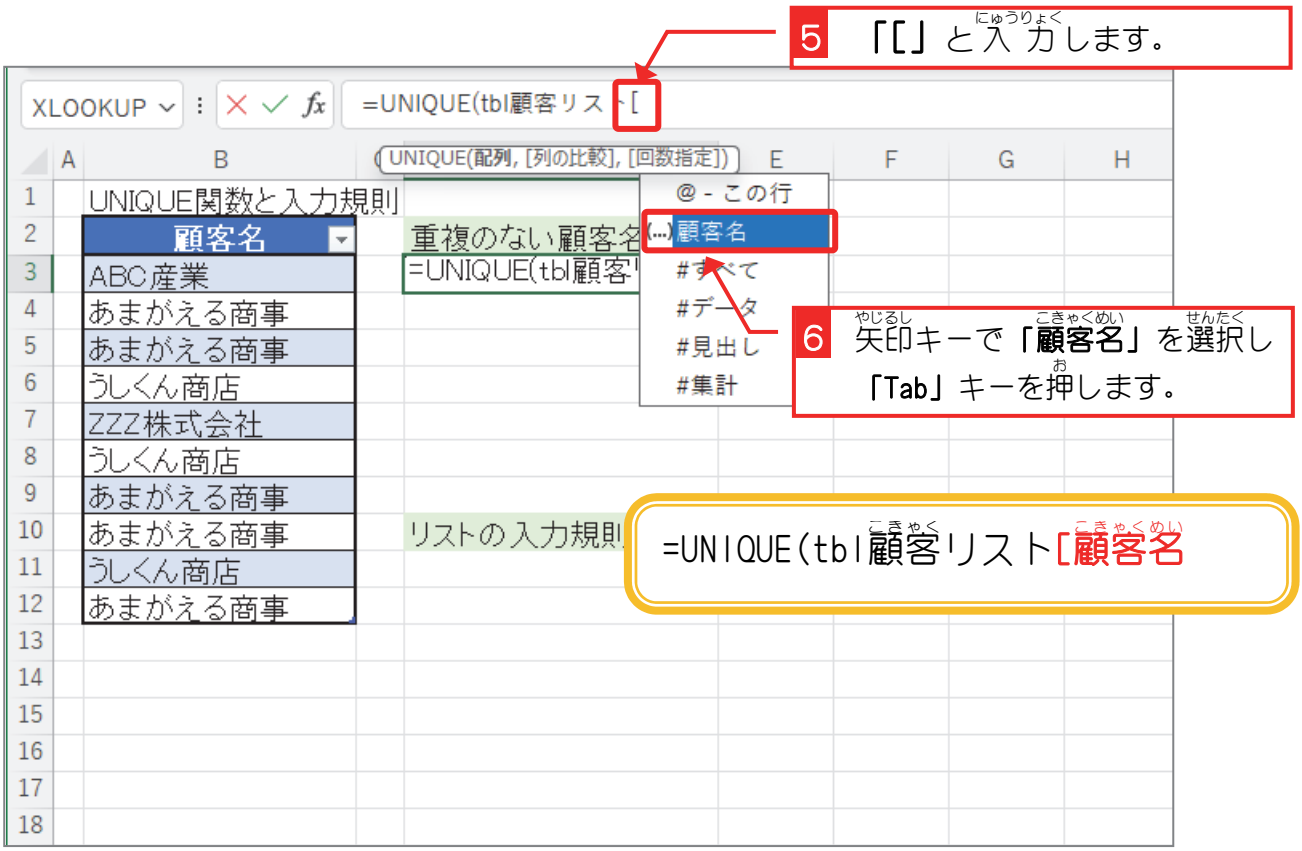
2. セル「D3」に、UNIQUE関数を使い顧客名の重複しないリストを作りましょう。

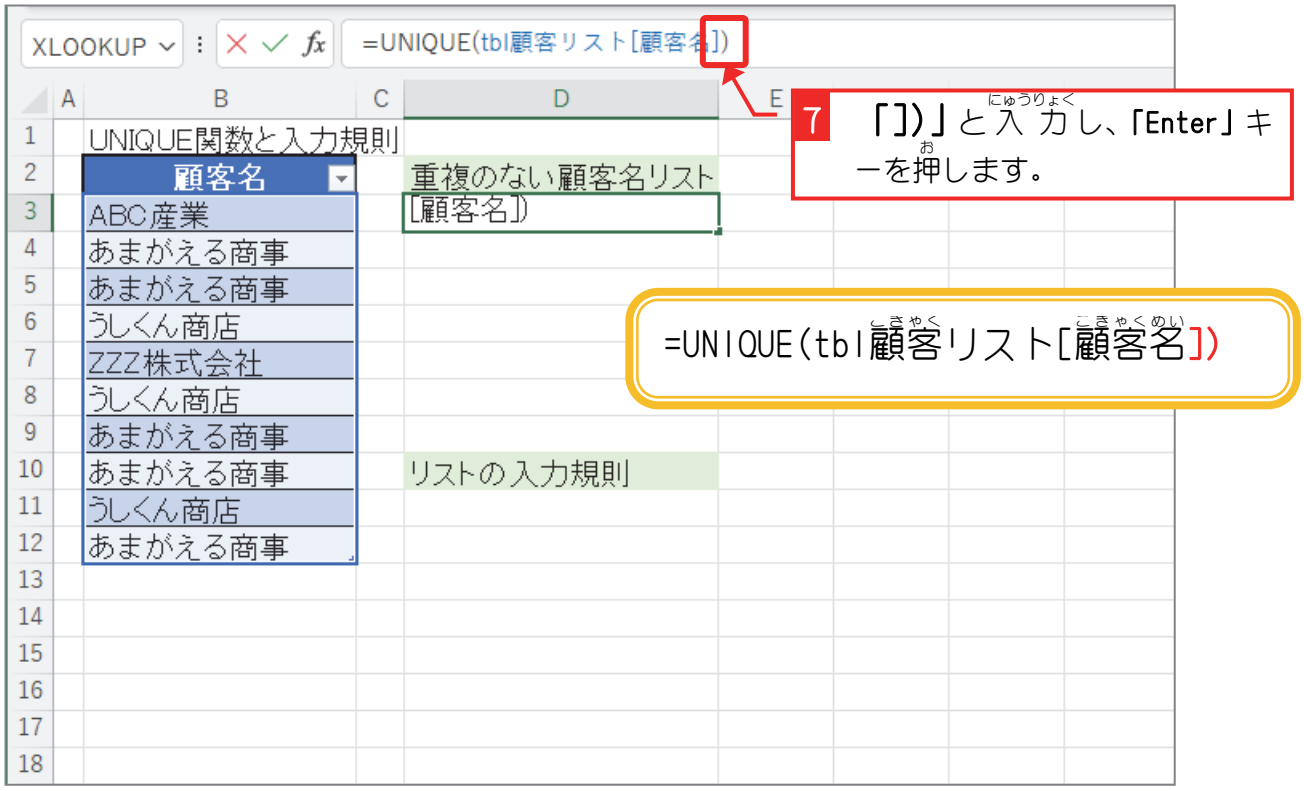


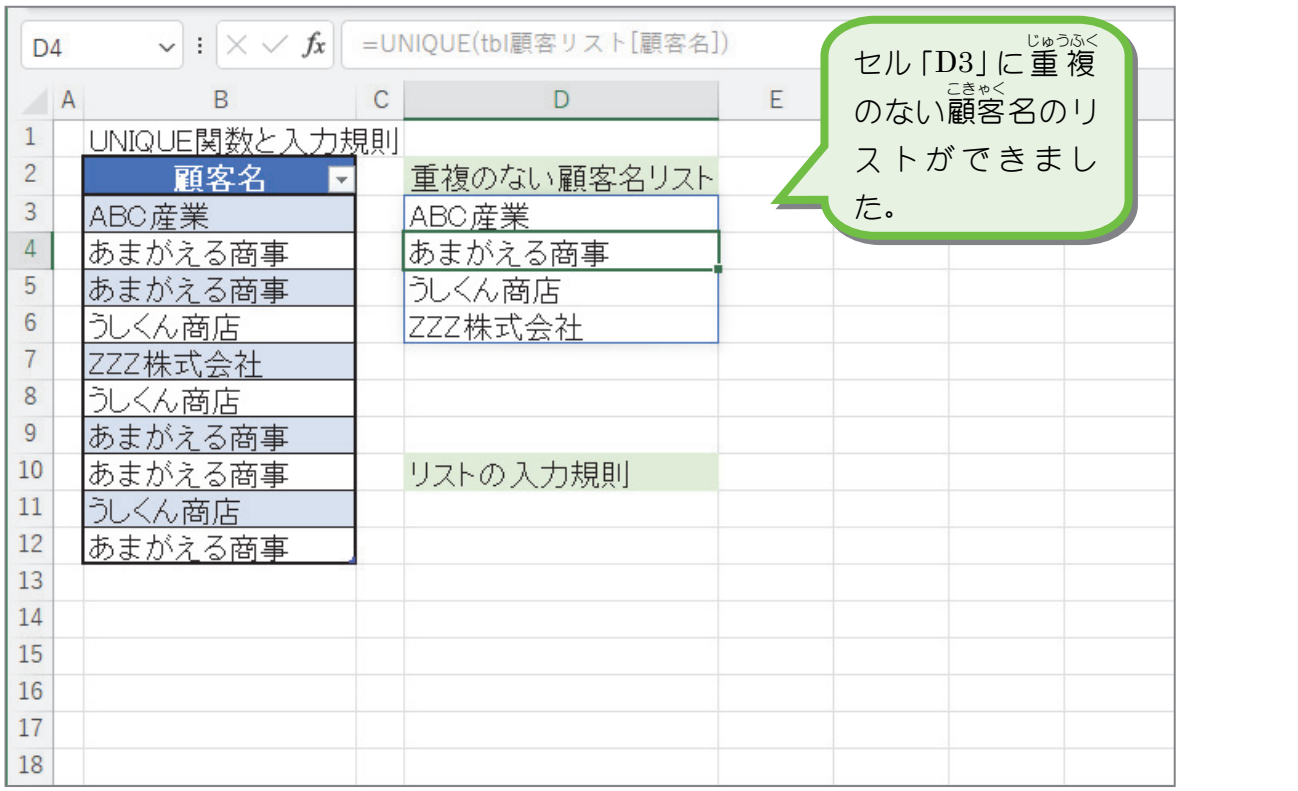
1 セル「D3」を選択し、数式バーに「=U」と入力します。

2 矢印キーで「UNIQUE」を選択し「Tab」キーを押します。

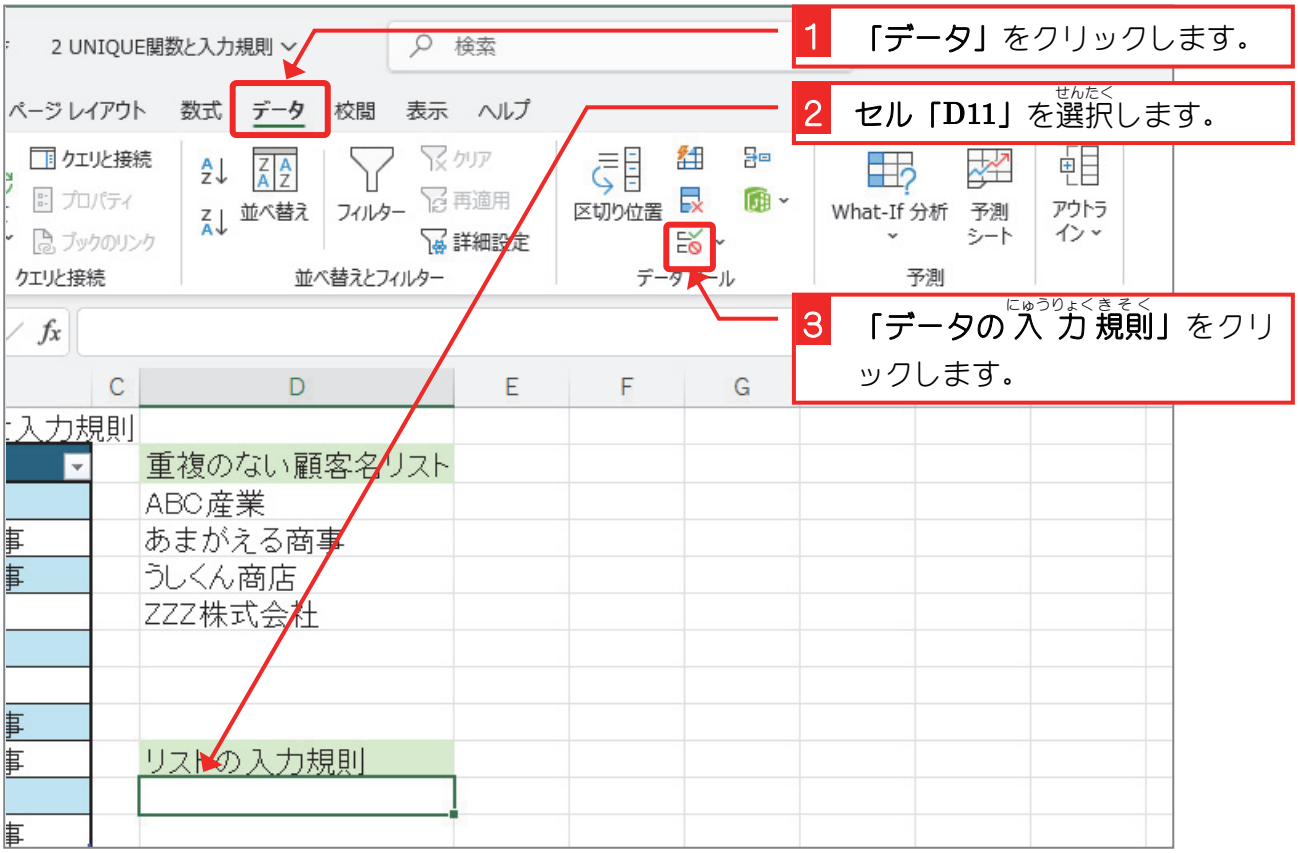

3 「TBL」と入力します。
=UNIQUE(tbl
UNIQUE(配列, [列の比較], [回数指定])
tbl顧客リスト
COUNTBLANK
4 「tbl顧客リスト」が選択されているのを確認し、「Tab」キーを押します。
=UNIQUE(tbl顧客リスト


5 「[」と入力します。
=UNIQUE(tbl顧客リスト[
@ - この行
顧客名
#すべて
#データ
#見出し
#集計
6 矢印キーで「顧客名」を選択し「Tab」キーを押します。
=UNIQUE(tbl顧客リスト[顧客名


XLOOKUP
=UNIQUE(tbl顧客リスト[顧客名])
UNIQUE関数と入力規則
顧客名
ABC産業
あまがえる商事
あまがえる商事
うしくん商店
ZZZ株式会社
うしくん商店
あまがえる商事
あまがえる商事
うしくん商店
あまがえる商事
重複のない顧客名リスト
[顧客名])
リストの入力規則
7 「])」と入力し、「Enter」キーを押します。
=UNIQUE(tbl顧客リスト[顧客名])


D4
=UNIQUE(tbl顧客リスト[顧客名])
UNIQUE関数と入力規則
顧客名
ABC産業
あまがえる商事
あまがえる商事
うしくん商店
ZZZ株式会社
うしくん商店
あまがえる商事
あまがえる商事
うしくん商店
あまがえる商事
重複のない顧客名リスト
ABC産業
あまがえる商事
うしくん商店
ZZZ株式会社
リストの入力規則
セル「D3」に重複のない顧客名のリストができました。

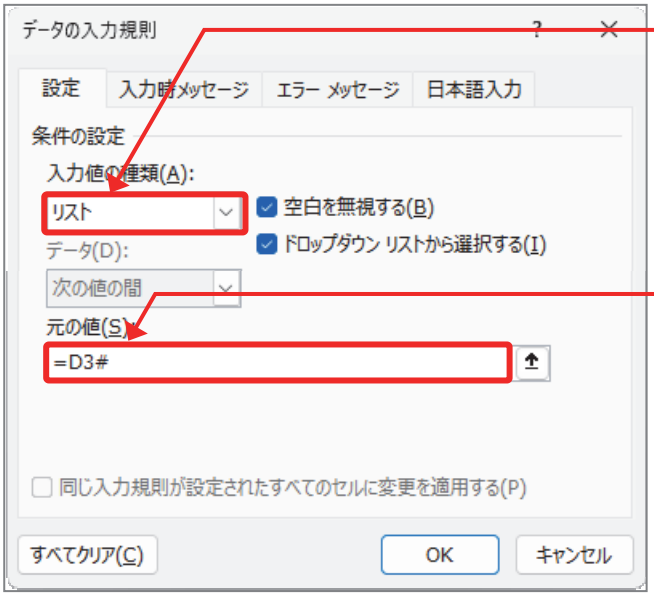
3. セル「D11」に、「重複のない顧客名リスト」を使ったリストの入力規則を設定しましょう。



1 「データ」をクリックします。

2 セル「D11」を選択します。

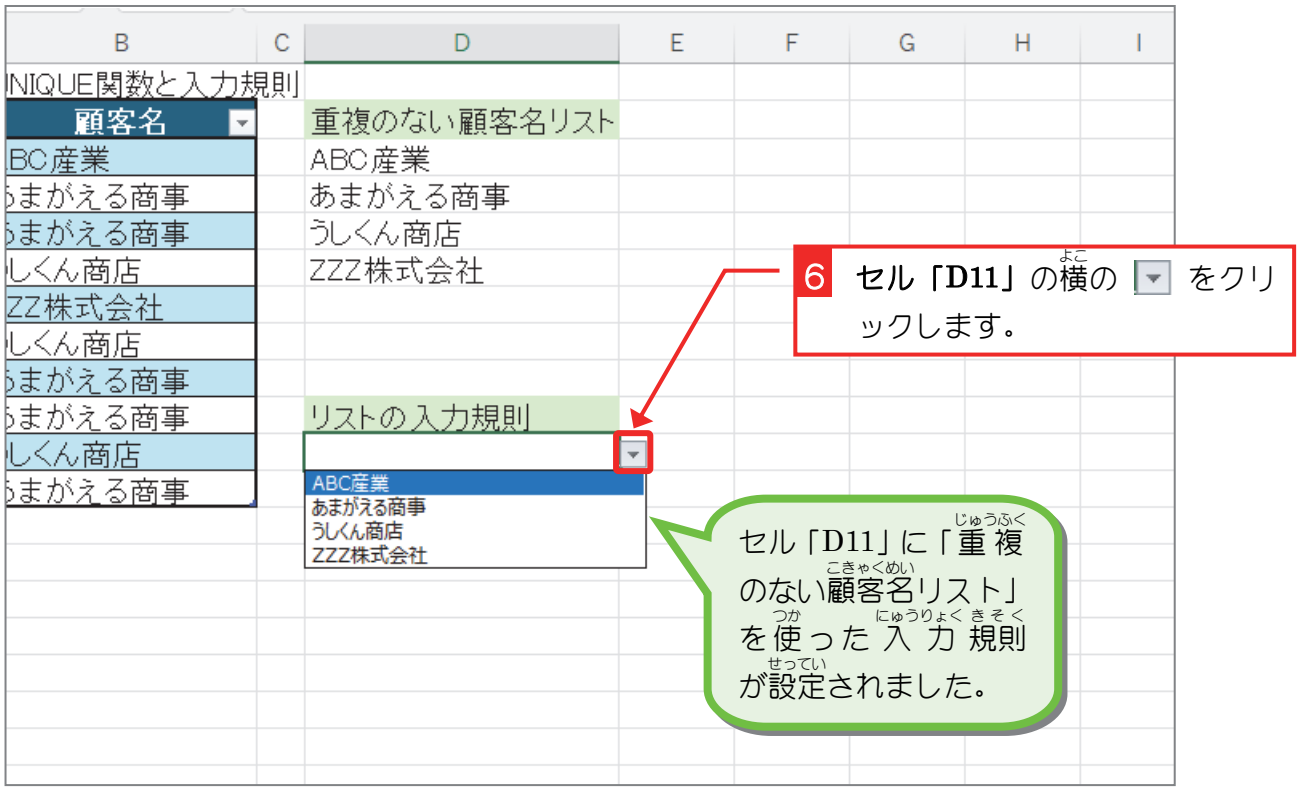
3 「データの入力規則」をクリックします。



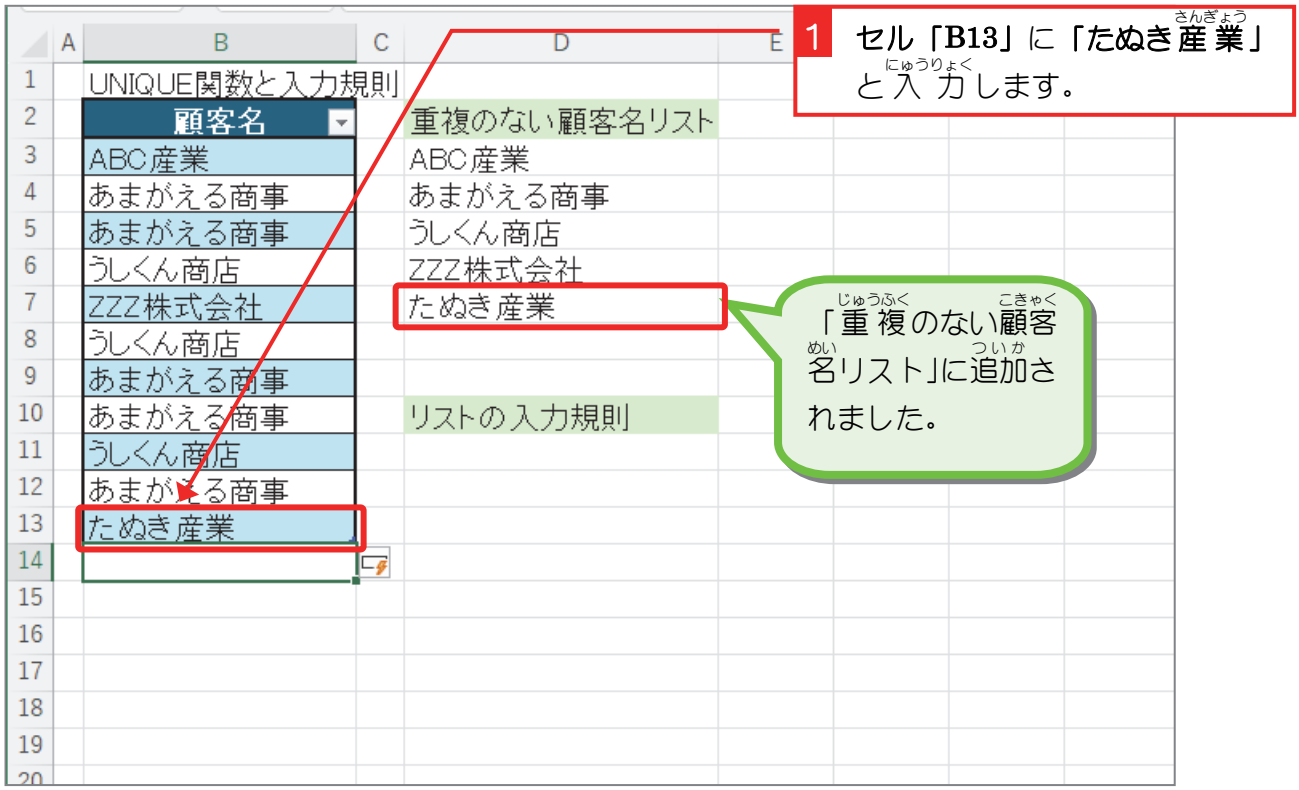
4 入力規則の種類を「リスト」に変更します。

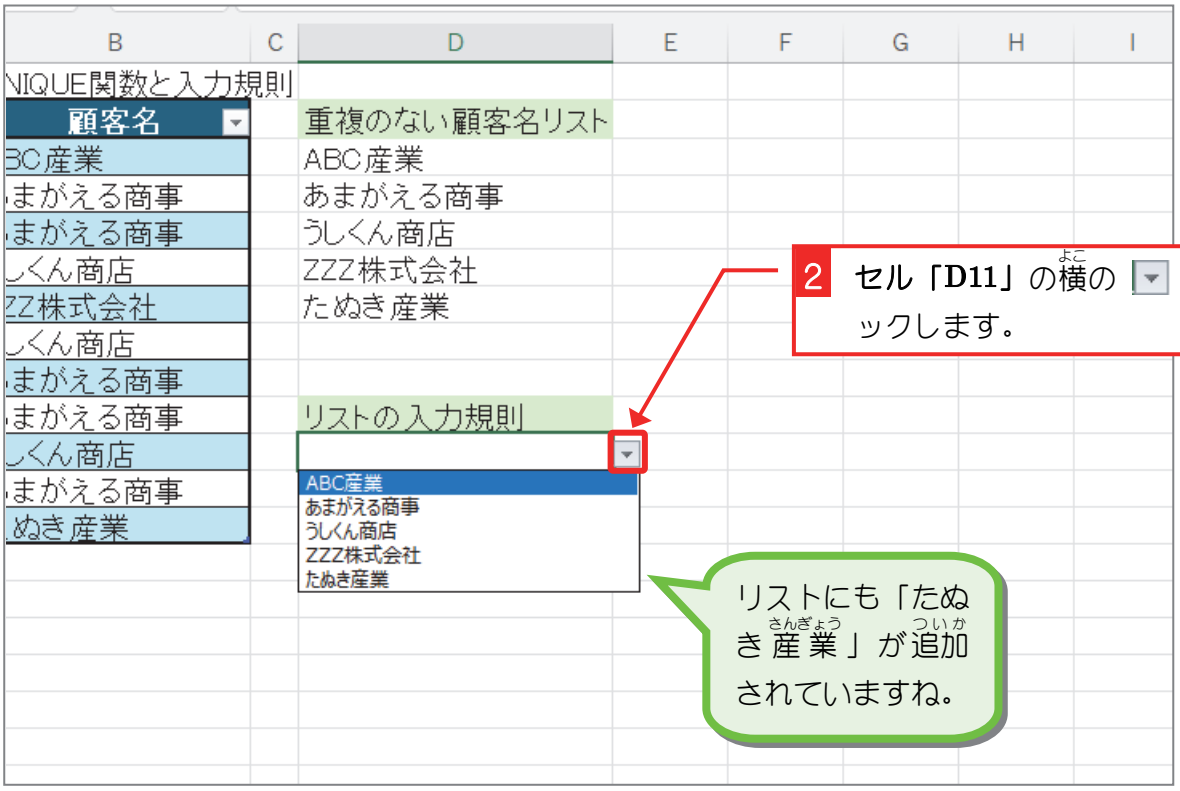
5 元の値欄に「=D3#」と入力します。

=D3#
はセル「D3」からスピルで表示された範囲ということでしたね。



4. テーブルにデータを追加してみましょう





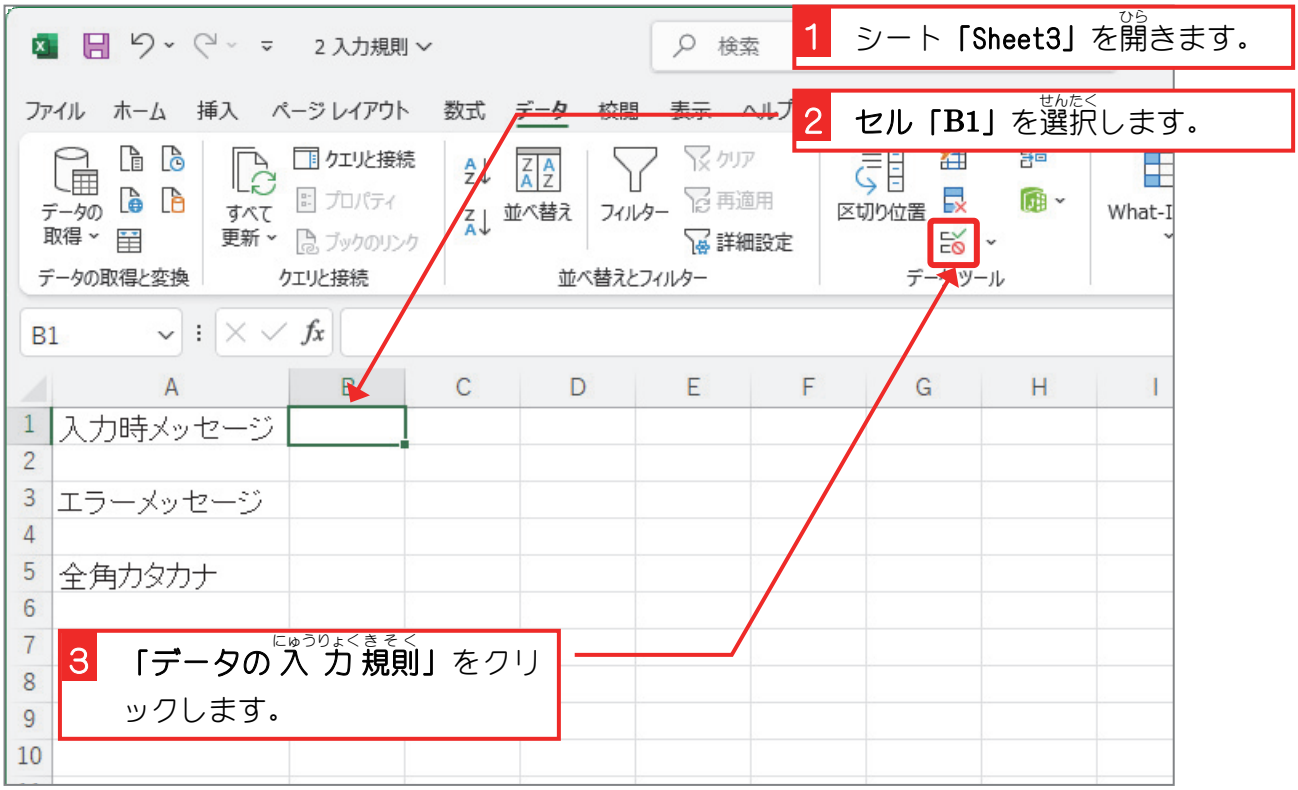
2 セル「D11」の横の ▼ をクリックします。

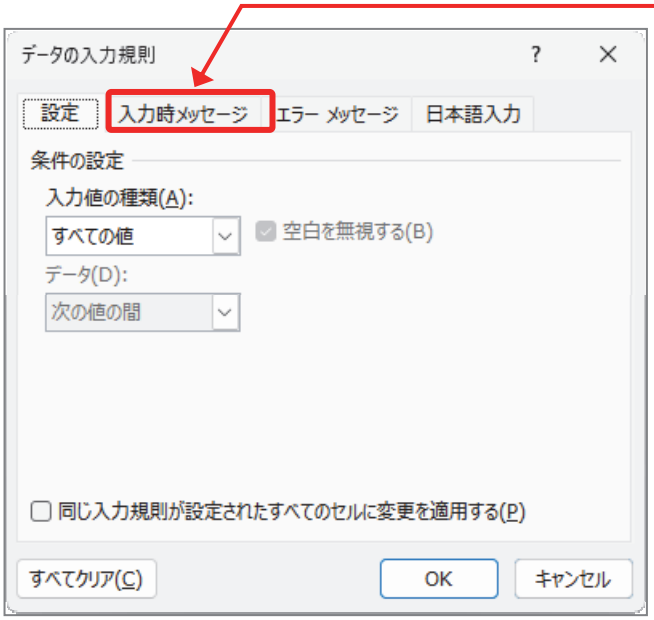
3 ファイルを保存せずに閉じましょう。

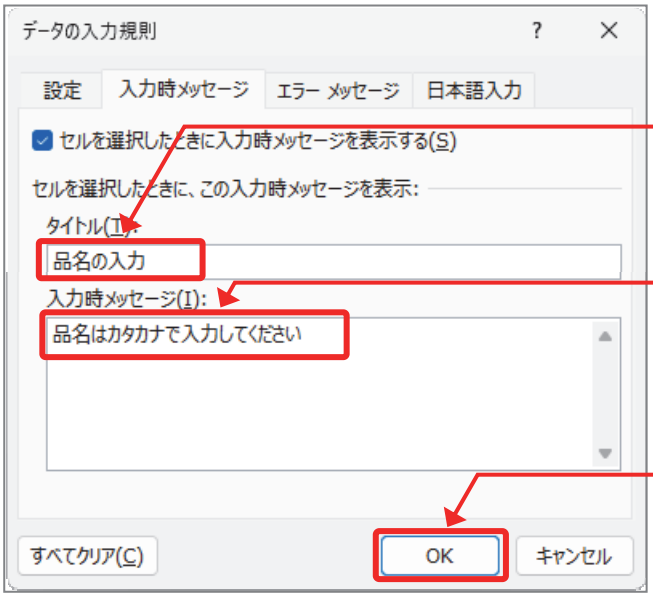
STEP 9. 入力時にメッセージを表示させる

データの入力規則を使うとデータの入力時にメッセージを表示することができます。

1. セル「D1」に入力時メッセージを設定しましょう



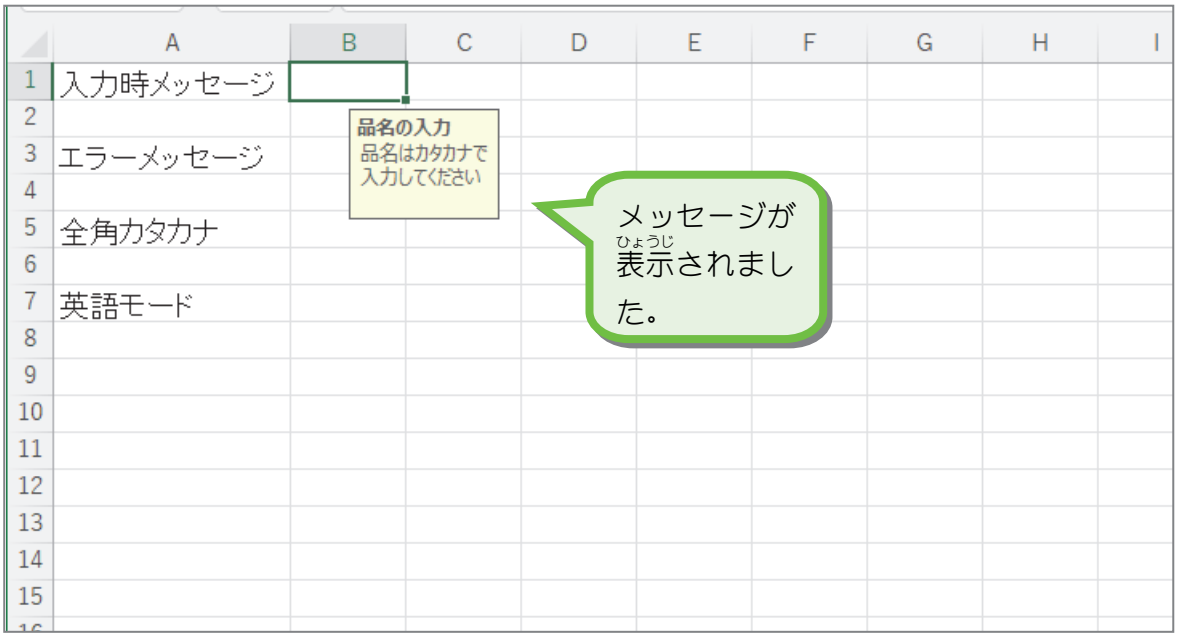


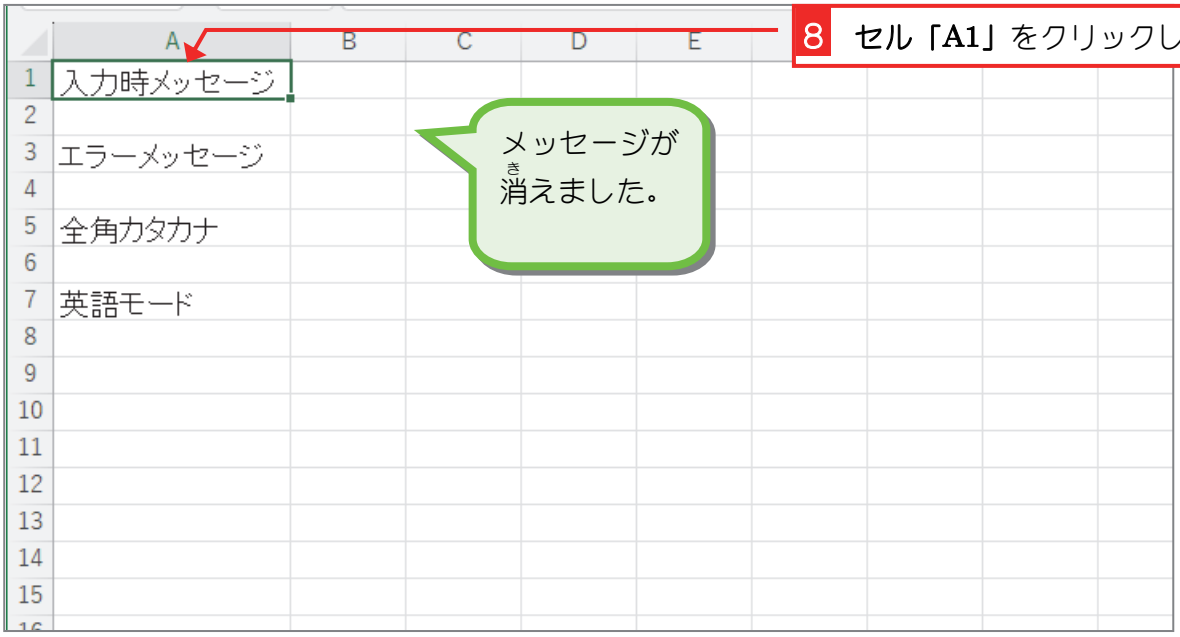


5 タイトルに「品名の入力」と入力します。

6 メッセージに「品名はカタカナで入力してください」と入力します。

7 「ＯＫ」をクリックします。



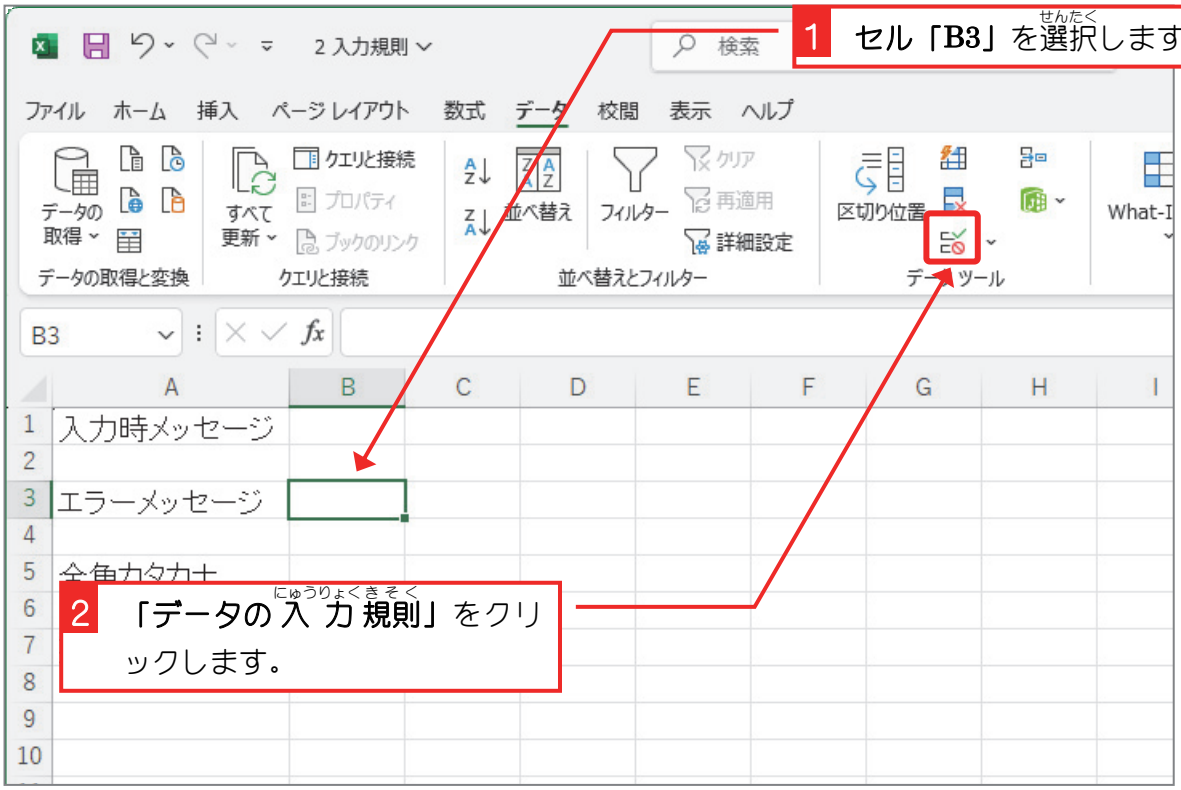


8 セル「A1」をクリックします。

STEP １０．　エラーメッセージを変更する

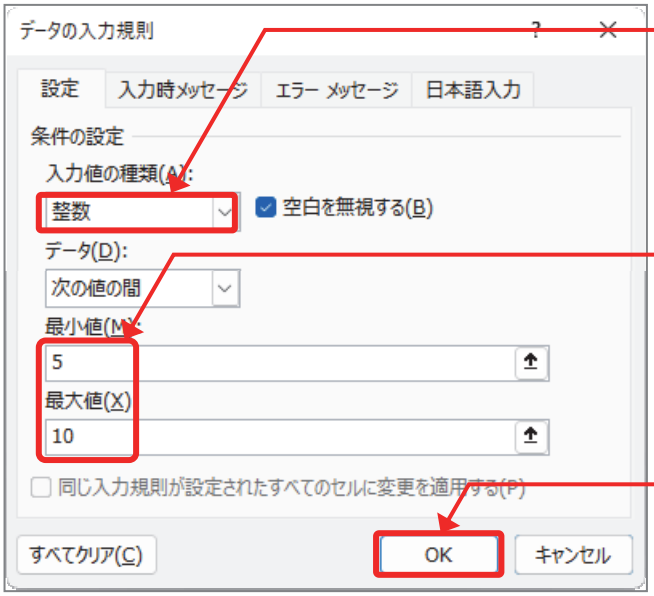
データの入力規則で設定した値以外のデータが入力されたときに表示するメッセージを変更することができます。

1. 入力規則を設定しましょう



1 セル「B3」を選択します。

2 「データの入力規則」をクリックします。

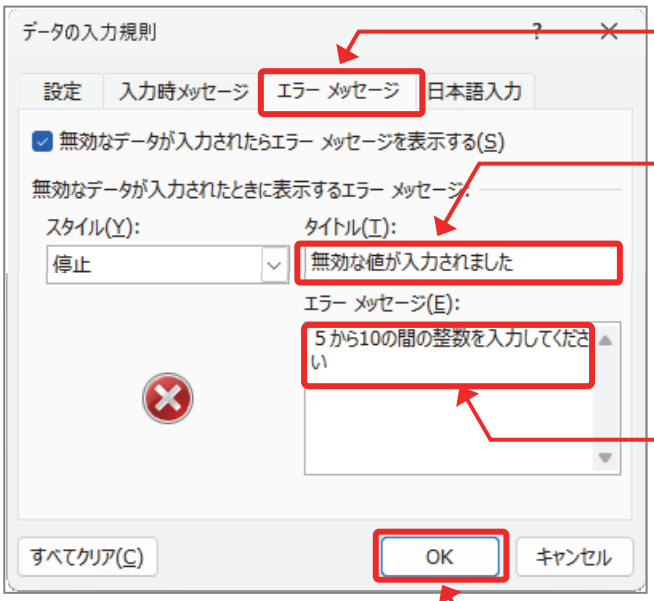


3 「入力値の種類」を「整数」に変更します。

4 最小値に「5」最大値に「10」を入力します。

5 「ＯＫ」をクリックします。

2. エラーメッセージを変更しましょう



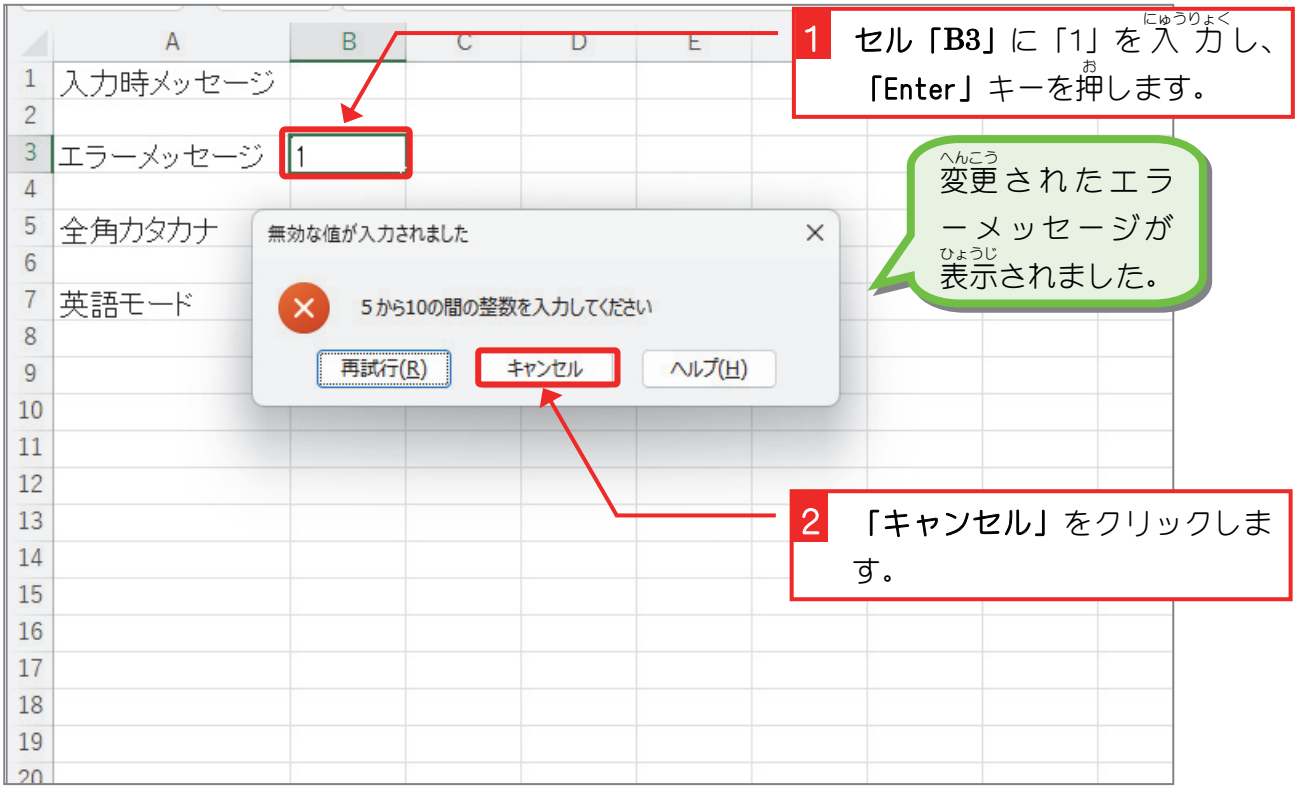
1 「エラーメッセージ」をクリックします。

2 タイトルに「無効な値が入力されました」と入力します。

3 エラーメッセージに「5 から 10 の間の整数を入力してください」と入力します。

4 「ＯＫ」をクリックします。

3. エラーメッセージを確認しましょう



1 セル「B3」に「1」を入力し、「Enter」キーを押します。

2 「キャンセル」をクリックします。